

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、来年度、近隣の学校との再編が予定されている。そこで、本年度は、歴木中学校最後の年として「気づく・つながる・創り出す」をキーワードとして、教育活動全体を通して体験活動を数多く取り入れ、歴木中学校の歴史の重みを振り返ることを重点としたESDに取り組んでいる。

1年生では福祉体験や企業見学、2年生では職場体験や修学旅行での伝統・文化の体験、3年生では保育体験を実施するほか、「先輩に学ぶ」や「食育」など、ゲストティーチャーを招いた学習も数多く行っている。

こうした学習によって、人権意識の涵養や多様性への理解を深め、社会問題への関心を高めるとともに、自らの生き方を見つめ直す機会となっている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 「KUNUGI ART PROJECT」その1(福祉用具体験、高齢者疑似体験)

1年生の福祉体験学習は、「KUNUGI ART PROJECT」として、地域の福祉施設、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の協力を得て、以前から実施している。

本年度は、福祉用具体験や高齢者疑似体験、福祉施設職員の方をゲストティーチャーに招いたグループワーク、福祉施設訪問などを実施した。福祉用具体験では、手動の車椅子、電動の車椅子、電動カート、歩行器、移乗スライディングボード、リフト車の乗降等を体験した。高齢者疑似体験では、前屈み姿勢体験ベルト、イヤーマフ、視野狭窄ゴーグル等を装着し、高齢者の抱えている日常生活課題を学んだ。



○ 「KUNUGI ART PROJECT」その2(地域の福祉施設職員によるグループワーク)

特別養護老人ホームやデイサービス（リハビリ特化型、病院併設等）、小規模多機能施設など、地域の福祉施設の職員の方をゲストティーチャーとして招き、6つのグループに分かれてグループワークを実施した。

「認知症とはどんな症状か」「高齢者と接するときはどんな心構えが必要か」「どんな人が利用しているのか？」など、それぞれのグループで学んだことを模紙にまとめ、グループごとに発表を行ったほか、廊下に掲示して、他のグループが学習した内容についても学び合いを行った。



○ 「KUNUGI ART PROJECT」その3(福祉施設訪問)

3～4人1組のグループに分かれて、地域の福祉施設を訪問した（計12施設）。

各福祉施設では、高齢者の方々と生徒が一緒に、本年度のテーマである「再会」を基にパネルを作成し、交流を深めた。パネルの作成を通して、高齢者と会話をしたり共同作業をしたりすることができた。また、事前に熱心に準備に取り組み、当日はダンスを披露したり、メッセージカードを利用者さんに渡したりしていたグループもあった。

生徒は、「高齢の方にとっては、創作活動が手先の訓練やリハビリになっているのだからということを学んだ。」「スタッフの皆様が、ご利用者の方に寄り添って一緒に歩いている姿が印象に残った。」など、交流を通して新たな気づきを得ることができた。



3 今後の活動計画

本年度の1年生は、福祉体験の他にも、大牟田市役所産業振興課の協力を得て、企業見学を予定している。

大牟田の繁栄を支えてきた地域のものづくりの現場を実際に見ることで、世界遺産にも登録された三池炭鉱に代表される大牟田の歴史を知り、炭鉱の閉山後も事業形態を様々に変えながら世の中に貢献してきた大牟田の製造業への理解を深めることを期待している。

そして、学習をとおして（学習内容だけでなく、体力向上や規範意識、時間を守ること、他者と協力すること、コミュニケーションなど）、自らの夢を実現する自己実現や、仕事を通じた社会貢献、などのキャリア教育について理解を深めさせていく計画である。